

RAYMOND WEIL

GENEVE

INSTRUCTIONS FOR USE

**SELF-WINDING
CHRONOGRAPH WATCHES**



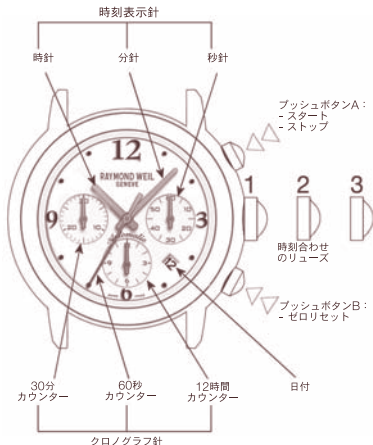
はじめに

RAYMOND WEILの時計をお買上げいただきありがとうございます。本ブランドは創立以来、現代に生きる優れたデザインと最高の品質を追求し続けております。

お買上のウォッチはRAYMOND WEIL自動巻クロノグラフのムーブメント、キャリバーRW 7200、7250または7300、ETA 7750または7753を使用しています。スイス時計製造の厳しい基準に基づき、当社の時計製造マスターたちが一つ一つ手で組み立てたムーブメントです。

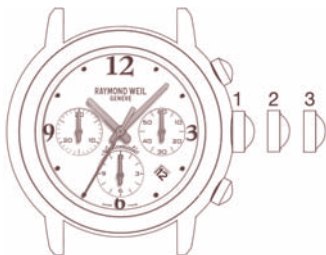
お買上のRAYMOND WEILウォッチを長期間最良の状態でお使いいただくため、この使用説明書及び国際保証書に記されているアドバイスをよくお読みいただくようお願い致します。

ダイヤルの説明



RAYMOND WEILクロノグラフの中には時速（km/hまたはその他の単位）を計測するタキメーターがついているものもあります。

日付変更と時刻合わせ



- 1 通常の位置、または巻上げ位置
- 2 日付クイック修正
- 3 時刻合わせ

RAYMOND WEILウォッチにはネジ込み式リューズまたはプッシュボタンがついているモデルもございます。その場合、時刻合わせや日付修正をする前に、まずリューズを引き出して反時計回りに回しネジをゆるめてください。リューズはスプリングがはずれて自由に動くようになります。セッティングが終わったら、リューズを軽く押しながら時計回りに回し、しっかりとねじ込みます。これで時計の防水性が保たれます。

日付修正

日付のスピード修正を行うには、リューズを2の位置に引き出します。それからモデルによりリューズを手前または向こう側に向かって回し、窓に正しい日付が現れるようにします。窓は：

- RW 7200または7250を使ったモデルでは12時位置、
- ETA 7750を使ったモデルでは3時位置、
- RW 7300またはETA 7753を使ったモデルでは4時位置にあります。

日付は時針が午前0時を回るときに切り替わります。この操作の間ウォッチは普通に機能していますので、時刻を改めて合わせる必要はありません。

午後10時から午前2時の間は日付変更操作を行わないでください。この時間帯には、ウォッチの自動日付変更メカニズムが働いているので、操作を行うとムーブメントを損傷することがあります。

日付変更が終わったらリューズを1の位置に戻し、防水性を確保します。

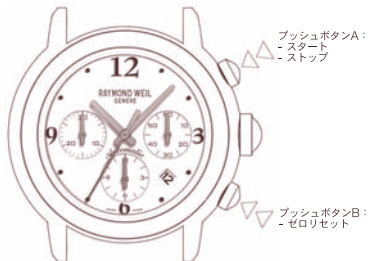
時刻合わせ

時刻を合わせるには、リューズを3の位置に引き出し、針が正しい時刻を指すまで、リューズを前か後ろのどちらかに回します。

時刻合わせが終わったらリューズを1の位置に戻し、針が動き出すのを確認します。防水性はこの位置で保たれます。

クロノグラフの使い方

クロノグラフはリューズが1または2の位置にある時のみ機能します。



スタート

プッシュボタンAを押してクロノグラフ秒針をスタートさせます。計測が60秒を越すと分カウンターに表示され、30分を越すと時カウンターに表示されます。

ストップ

もう一度プッシュボタンAを押してクロノグラフをストップさせると経過時間（時、分、秒）を読み取ることができます。再度プッシュボタンAを押すと次のクロノグラフ計測がスタートします。このようにして複数の計測を連続して行うことができます。

ゼロリセット

プッシュボタンAを押してクロノグラフをストップさせた後、プッシュボタンBを押してクロノグラフ針を全てゼロに戻すと、新たな計測ができる状態となります。

RAYMOND WEIL S.A.

Avenue Eugène-Lance 36-38

P.O. Box 1569

1211 Geneva 26

Switzerland

Tel +41 (0) 22 884 00 55

Fax +41 (0) 22 884 00 50



GENERAL INFORMATION

info@raymond-weil.ch

AFTER SALES SERVICE

customer-service@raymond-weil.ch

WEBSITE

www.raymondweil.com